

提出書類の書き方

2015年10月19日(月)

1年生担任 森田, 田中(洋)

卒業までの書類提出



学習目標・学習計画書の提出



達成度自己評価報告書の提出



1年次 前学期



1年次 後学期



2年次 前学期



2年次 後学期



3年次 前学期



3年次 後学期



4年次 前学期



4年次 後学期



達成度自己評価表(シラバス使用)

平成 15 年 12 月 11 日制定, 平成 27 年 1 月 29 日改訂

A. 豊かな教養と地球的視点を備え, 技術者の社会的責任を認識できる.

(1) スポーツや芸術に慣れ親しみ, 人間性豊かな思考のできる教養を備える.

達成度評価対象	評価基準	自己評価					
		達成度チェック	ポイント (S 4点) (A 3点) (B 2点) (C 1点)	ポイント加点項目			
		取得年次	チェック				
スポーツ科学演習 I, スポーツ科学演習 II	2単位取得	科目名 スポーツ科学演習 I	1 年次	✓	3 点	人間教養科目の「体の科学」に 属する科目の総取得単位数	2 単位
KIT教養科目	6単位以上取得 (下記2項目の 4単位を含む)	科目名 KIT入門	1 年次	✓	4 点	KIT教養科目の総取得単位数	4 単位
KIT教養科目の「科学技術と 環境」に属する科目	2単位取得	科目名 地球環境論	1 年次	✓	2 点		
KIT教養科目の「科学技術と 倫理」に属する科目	2単位取得	科目名	年次		点		
基本教養科目	6単位以上取得	科目名 心理学	1 年次	✓	4 点	基本教養科目の総取得単位数	6 単位
		科目名 美と芸術	1 年次	✓	4 点		
		科目名 エネルギー科学	1 年次	✓	3 点		
		チェック数合計	ポイント合計	加点率 (二) / {2 * (イ)}		取得単位数合計	
		(イ) 6	(ロ) 20 点	(ハ) 1		(ニ) 12 単位	

赤枠を記載後, 青枠の値を計算する.

学習・教育目標A(1)の達成率と換算ポイント	自己評価	3年次終了時の達成率目標	2年次終了時の最大達成率	1年次終了時の最大達成率
達成率 (イ) / 7 * 100	A(1) 85.7 %	100. 0%	100. 0%	100. 0%
換算ポイント (ロ) / 21 * (ハ) * 100	A(1) 95.2 点			

達成度自己評価表(シラバス使用)

A. 豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。

(3) 科学技術の発展とそれが自然環境、生命、社会などに及ぼす効果や影響を理解できる。

解説：技術者が社会に対して負っている責任（技術者倫理）について理解することも含む。

達成度評価対象	評価基準		自己評価				
			達成度チェック		ポイント (S 4点) (A 3点) (B 2点) (C 1点)	ポイント加点項目	
			取得年次	チェック			
KIT教養科目の「科学技術と倫理」に属する科目	2単位以上取得	科目名	年次		点	KIT教養科目の「科学技術と倫理」に属する科目の総取得単位数	(ニ) 単位
KIT教養科目の「科学技術と環境」に属する科目	2単位以上取得		年次		点	KIT教養科目の「科学技術と環境」に属する科目の総取得単位数	(ホ) 単位
《機械工学実験Ⅰ》 《機械工学実験Ⅱ》	技術者倫理に対する講義を受けた後、少人数の班に分かれ、具体的に与えられる事例に基づいて討論して考えをまとめてレポートを提出し、これに合格して、単位を取得すること。		年次		点		
			年次		点		
環境マネジメント活動	環境マネジメント講習に出席し、少なくとも1年間環境マネジメントプログラム実行計画書にしたがって活動していること。		年次		点		
			チェック数合計		ポイント合計	加点率 {(ニ)+(ホ)}/4	
			(イ)		(ロ) 点	(ハ)	

この値を超えることは無い。

学習・教育目標A(3)の達成率と換算ポイント	自己評価	3年次終了時の達成率目標	2年次終了時の最大達成率	1年次終了時の最大達成率
達成率 (イ) / 5 * 100	A(3) %	80.0%	40.0%	40.0%
換算ポイント (ロ) / 12 * (ハ) * 100	A(3) 点			

達成度自己評価報告書

平成15年12月11日制定, 平成27年1月29日改訂

平成27年度入学生用 達成度自己評価報告書(提出用紙)

この書類を提出するとともに、控えを保存する。

学籍番号 _____

氏 名 _____

年次・学期 ____年次 前学期・後学期

達成度自己評価表から転記

下記項目の記入に当っては、「学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ」を良く見て下さい。また、達成度評価対象欄に《 》が付けられている科目は、複数の学習・教育目標に関係する科目の中で「達成度評価方法と評価基準」に単位取得の前提となる評価項目が定められているものです。

A. 豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。

(1) スポーツや芸術に慣れ親しみ、人間性豊かな思考のできる教養を備える。

達成率	換算ポイント	達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
85.7 %	95.2 点	スポーツ科学演習Ⅰ, スポーツ科学演習Ⅱ	左記科目より2単位取得	達成度自己評価表から算出される達成率が100%となったときに合格とし、評価点は換算ポイントで与えられる
		KIT教養科目	左記科目より6単位以上取得 (下記2項目の4単位を含む)	
		KIT教養科目の「科学技術と環境」に属する科目	左記科目より2単位取得	
		KIT教養科目の「科学技術と倫理」に属する科目	左記科目より2単位取得	
		基本教養科目	左記科目より6単位以上取得	
前回の計画書に記入した達成率目標に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 届かなかった	前回の計画書に記入した自発的学習目標・学習計画の達成状況に対する自己評価	(適宜記載する.)	

学習目標・学習計画書

この書類を提出するとともに、控えを保存する。

平成16年3月10日制定, 平成27年1月29日改訂

平成27年度入学生用 学習目標・学習計画書

達成度評価対象7項目の内, 合計7項目達成予定

7 ÷ 7 = 100.0% (小数点第1位まで記載)

学籍番号 _____

氏名 _____

年次・学期 ____年次 前学期・後学期

下記項目の記入に当っては、「学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ」を良く見て下さい。また、達成度評価対象欄に《 》が付けられている科目は、複数の学習・教育目標に関係する科目の中で「達成度評価方法と評価基準」に単位取得の前提となる評価項目が定められているものです。

取得済み科目を転記

今期に取得する科目

A. 豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。

(1) スポーツや芸術に慣れ親しみ、人間性豊かな思考のできる教養を備える。

現在の達成率	達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	これまでの達成したもの		今期の目標		総合評価方法及び評価基準
			達成度評価対象	確認	達成度評価対象	達成率目標	
85.7%	スポーツ科学演習Ⅰ, スポーツ科学演習Ⅱ	左記科目より2単位取得	スポーツ科学演習Ⅰ	✓		100.0%	達成度自己評価表から算出される達成率が100%となったときに合格とし、評価点は換算ポイントで与えられる。
	KIT教養科目	左記科目より6単位以上取得(下記2項目の4単位を含む)	KIT入門	✓			
	KIT教養科目の「科学技術と環境」に属する科目	左記科目より2単位取得	地球環境論	✓			
	KIT教養科目の「科学技術と倫理」に属する科目	左記科目より2単位取得			情報セキュリティと情報倫理		
	基本教養科目	左記科目より6単位以上取得	心理学	✓			
			美と芸術	✓			
			エネルギー科学	✓			

この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画(技術者としての自己デザインのための自発的学習)

例えば「技術者として必要な基本的素養を習得するため、自発的に努力する。」等、自分で考えて記載する。

【書類提出】

○提出物

1. 達成度自己評価書（1年前期）
2. 学習目標・学習計画書（1年後期）

○締め切り 11月2日（月） 17：00

○提出場所 機械事務室（10号館2階）

【注意】

○提出書類については、控えを作成して保存する。

以上